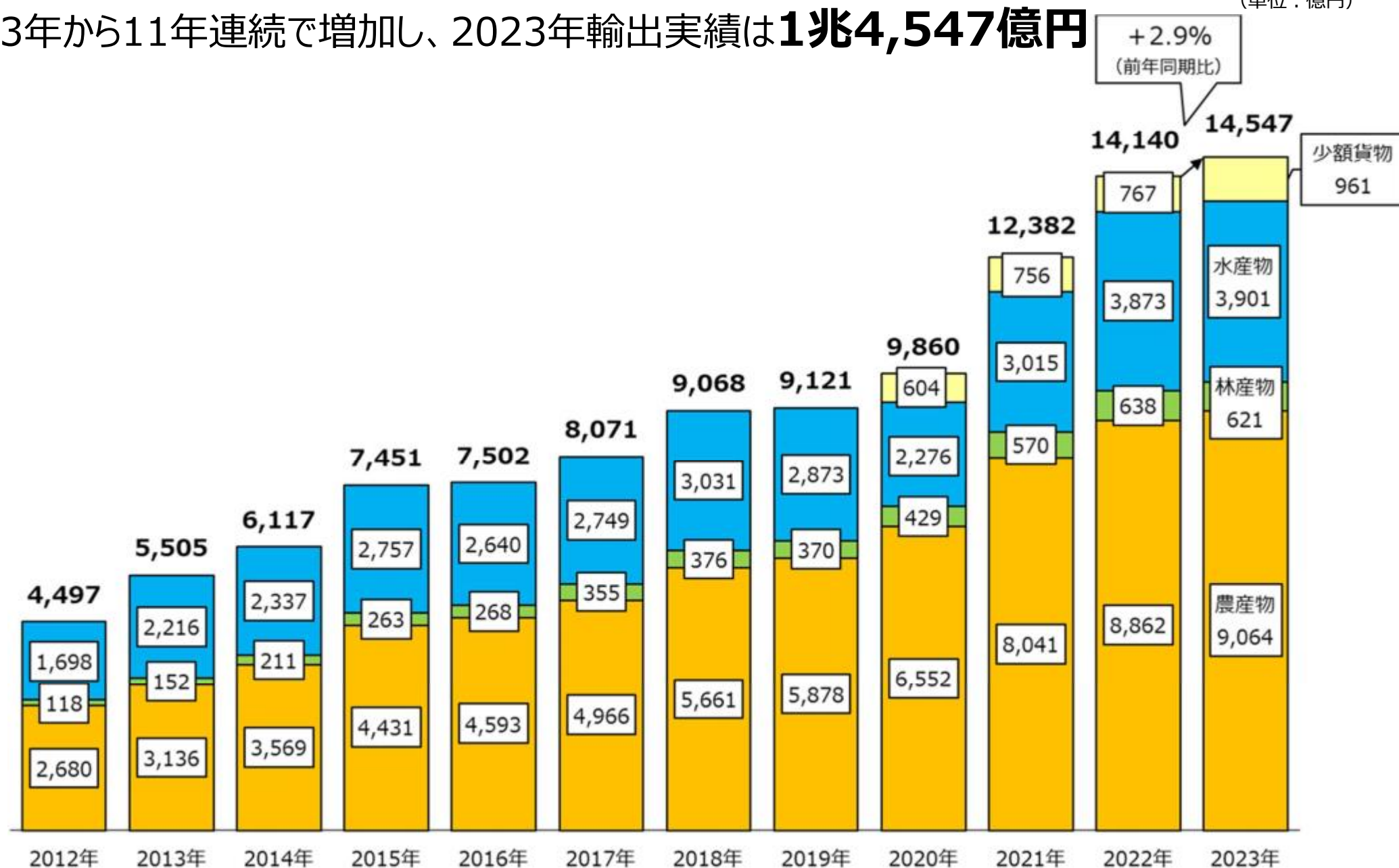


農林水産物・食品の輸出額の推移

(単位：億円)

2013年から11年連続で増加し、2023年輸出実績は**1兆4,547億円**



※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

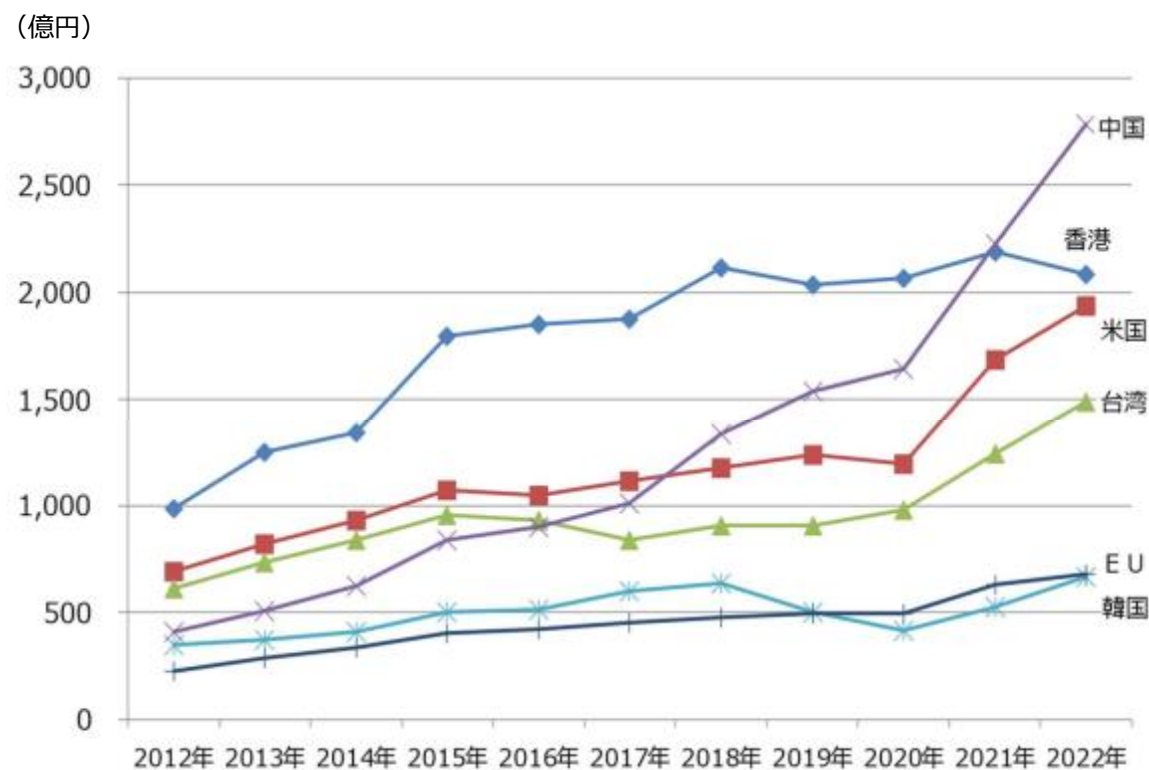
国・地域別、農林水産物・食品の輸出額

- 国・地域別でみると、**中国、香港、米国**への輸出が5割のシェア。
- 今後これらの国・地域以外のアジア、所得の高い北米や欧州諸国等にも輸出を拡大できる可能性。

上位10カ国輸出先国・地域別内訳（2023年）

順位	輸出先	2023年1-12月（累計）					
		輸出額 （億円）	金額 構成比 （%）	前年 同期比 （%）	輸出額内訳（億円）		
					農産物	林産物	水産物
1	中華人民共和国	2,376	17.5	▲ 14.6	1,493	273	610
2	香港	2,365	17.4	+13.4	1,334	14	1,016
3	アメリカ合衆国	2,062	15.2	+6.4	1,383	67	612
4	台湾	1,532	11.3	+2.9	1,161	41	330
5	大韓民国	761	5.6	+14.1	497	35	228
6	ベトナム	697	5.1	▲ 3.7	452	7	238
7	シンガポール	548	4.0	▲ 1.1	453	6	88
8	タイ	511	3.8	+0.9	256	10	245
9	オーストラリア	310	2.3	+6.2	267	3	40
10	フィリピン	306	2.3	▲ 2.6	151	118	37
-	E U	724	5.3	+6.4	618	19	87

輸出先国・地域別輸出額の推移



農林水産物・食品輸出プロジェクト（GFP）の取組

- GFP（ジー・エフ・ピー）**は、Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Projectの略称。農林水産省が推進する**日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクト**。
- 平成30年8月31日に農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等のサポートと連携を図る「**GFPコミュニティサイト**」を立ち上げ。
- 当該サイトに登録した者を対象に、農林水産省がジェトロ、輸出の専門家とともに産地に直接出向いて輸出の可能性を無料で診断する「**輸出診断**」を平成30年10月から開始。



GFP登録者へのサービス提供

○農林漁業者・食品事業者へのサービス

- ・専門家による無料の輸出診断
- ・GFPコミュニティサイトで事業者同士が直接マッチング
- ・GFPビジネスパートナーの紹介等による支援
- ・輸出のための産地づくりの計画策定の支援
- ・メンバー同士の交流イベントの参加
- ・規制情報等の輸出に関連する情報の提供
- ・セミナー等を通じたGFP登録者の優良事例の共有
- ・過去のセミナー動画のアーカイブ化による輸出ノウハウの提供

○輸出商社・バイヤー・物流企業へのサービス

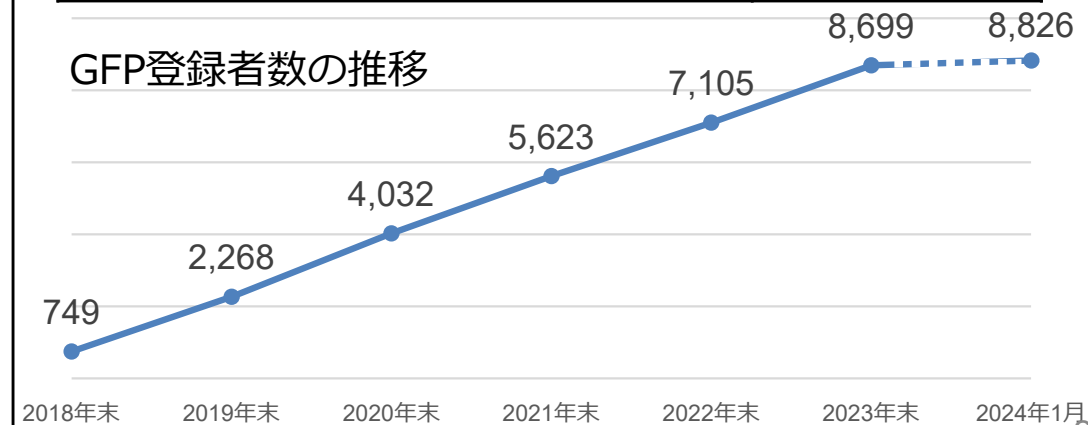
- ・GFPコミュニティサイトで事業者同士が直接マッチング
- ・GFPビジネスパートナーの紹介等による支援
- ・メンバー同士の交流イベントの参加
- ・規制情報等の輸出に関連する情報の提供
- ・セミナー等を通じたGFP登録者の優良事例の共有
- ・過去のセミナー動画のアーカイブ化による輸出ノウハウの提供

GFPの登録状況（1月末時点）

GFP登録者の内訳

区分	登録者数
農林水産物食品事業者	4,862
流通事業者、物流事業者	3,964
合計	8,826

GFP登録者数の推移



中国四国地域におけるGFP登録状況

- ✓ 中国四国地域におけるGFP登録数（令和6年1月末現在）は705事業者（中国382、四国323）。
- ✓ このうち訪問診断を申し込んだ登録事業者に対する訪問診断は、令和6年1月末までに81事業者（中国53、四国28）に対し実施。

【GFPの登録状況（令和6年1月末現在）】

			登録数 (比率)
登録事業者			705
農林水産物 食品事業者			515 (73%)
	うち、輸出診断 申込み数		137 (19%)
	うち、訪問診断 申込み数		86 (12%)
流通事業者、物流事業者等			190 (27%)

【訪問診断事業者内訳（令和6年1月末現在）】

品目	訪問 事業者数	輸出取組の有無	
		有	無
農産物／ 農産物加工食品	39	10	29
畜産物／ 畜産物加工食品	5	4	1
水産物／ 水産物加工食品	21	9	12
その他加工食品	11	8	3
酒類	5	5	0
合計	81	36	45

【輸出診断の概要】

- ・ 事業者のレベルに応じたアドバイス。
 - 「何を、どこに、誰に」売るかを明確にすべき。
 - まずは商談会に参加すべき。
 - 支援策や課題の問い合わせ先を紹介。
 - 検疫や商談会の情報を提供。

【事業者の声】

- ・ 各種支援策や検疫、商談会等の情報が得られてよかった。
- ・ 農水省、JETRO、県との課題共有は収穫。
- ・ 行政、植物検疫協会等との人的つながりができてよかった。
- ・ 人脈を広げて事業者間で情報を得たいので、GFPコミュニティの取組に期待する。

あなたを、 生産者の 日本代表にしたい。



1億人ではなく、
100億人を見据えた
農林水産業へ。

四季の豊かなこの国で、だれかを喜ばせたい一心で取り組む生産者のみなさんへ。
海外各国からのニーズが大きくなっている今、みなさんと輸出の成功事例をつくっていきたい。
このコミュニティにぜひ参加して第一歩を踏み出しませんか。農林水産省が全力でサポートします。



こんな方に最適です！

- 輸出をしたいけど、どうしたらいいかわからない！
- ビジネスパートナーを探したい！
- 輸出に関わる情報を効率よく入手したい！

GFPを通じた成約事例も続々と出ています！

登録
無料

参加を希望する方はまずはメンバー登録を。

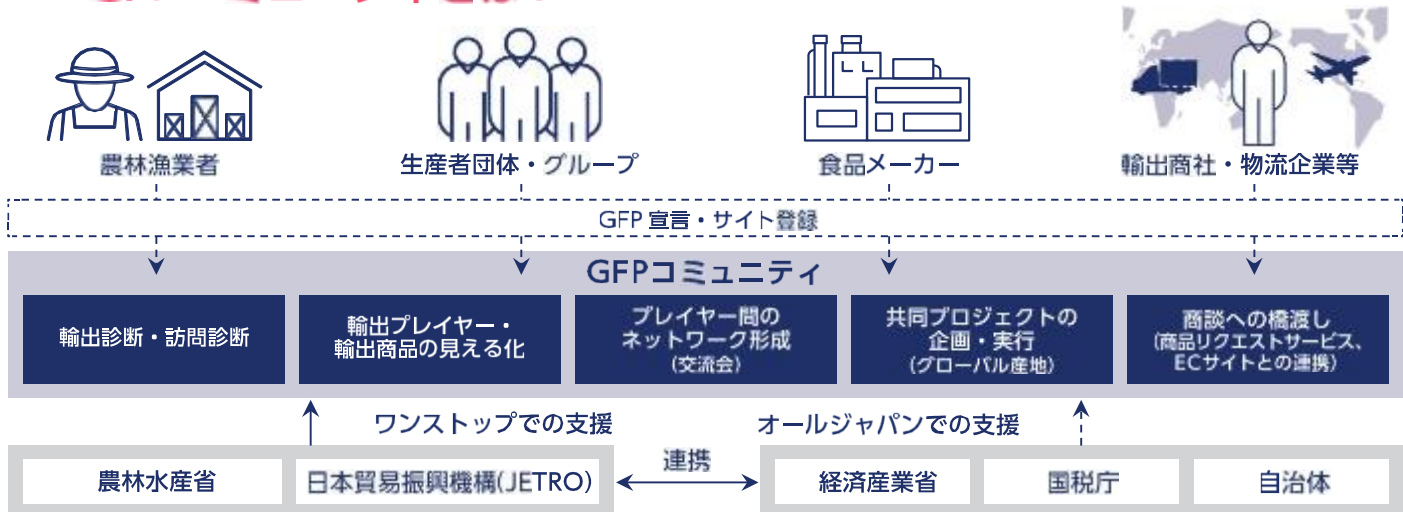
WEB : <http://www.gfp1.maff.go.jp>

問い合わせ先：農林水産省 GFP事務局 Mail : gfp@maff.go.jp



農林水産省

1 GFPコミュニティとは？



- 輸出は、国内出荷と異なり、様々な手続き・規制・言語のハードルや独特の商流が存在し、個々のプレイヤーでは継続的な成果を出すのが困難です。
- こうした課題を乗り越えるため、個々のプレイヤーがビジネスパートナーを見つけ、商談への橋渡しを行うサイトを構築します。
- 併せて、これらのコミュニティでの取組みに対して、行政・JETRO等が一体となって、ワンストップの支援を提供します。

2 GFP登録事業者

農林水産物・食品の輸出に意欲的に取り組もうとする事業者(生産者、食品加工メーカー、商社、物流企業、金融機関など)

3 サービス詳細

- 1 輸出診断・訪問診断**
農林水産省がJETRO、輸出専門家とともに、生産現場等に訪問またはオンラインにて「輸出の可能性」を無料診断します。
- 2 訪問診断実施者フォローアップ**
各登録者の課題解消に向けて、GFPビジネスパートナーマッチング・デジタルカタログ・輸出塾等を通じてサポートします。
- 3 GFPコミュニティサイト**
各登録者が、自分の商品やサービスをGFPサイトのマイページで発信したり、気になる事業者に直接コンタクトできます。
- 4 商品リクエスト**
輸出商社等が現地ニーズに基づく「商品リクエスト」を発信し、生産者との商談につなげるサービスです。
- 5 グローバル産地づくり推進事業**
輸出先国のニーズと規制等に対応し、積極的に戦略を持って輸出への取組を行う産地形成を支援する事業です。
- 6 交流会・セミナーの開催**
情報交換、交流、知識の習得を目的としたセミナー等、多様なイベントを開催します。
- 7 情報発信**
会員限定メールの配信、Facebook GFP関連の情報発信、GFP登録者の発信のシェア等を随時行っております。

Facebookでも輸出診断の様子を紹介しています。



GFPコミュニティサイトイメージ



GFPデジタルカタログ (商談資料)





令和5年度 GFPグローバル産地づくり推進事業 採択産地

(令和5年7月現在)

中国四国ブロック(17産地)

48	岡山県	全農岡山県本部	コメ(うるち米・酒米)
49		瀬戸内エリア農林水産物輸出推進協議会	農水産物・加工品
50	山口県	やまぐちの農林水産物需要拡大協議会	日本酒
51		株式会社リブル	牡蠣
52	徳島県	有限会社東海産	塩干・鶏肉加工品
53		香川県漁業協同組合連合会	ぶり
54		石丸製麺株式会社	麺類(麦加工品)
55		大平やさい株式会社	レタス
56		香川県	RTE冷凍麺(麦加工品)
57	香川県	香川県農業協同組合	パックご飯
58		株式会社JA香川県フードサービス	鶏卵
59		創麺屋株式会社	鯛そうめん
60		有限会社キウイバードコーポレーション	キウイフルーツ等
61		くりや株式会社	コメ加工品
62	愛媛県	えひめ愛フード推進機構	かんきつ
63		愛媛県漁業協同組合	養殖ブリ・マダイ
64	高知県	高知米国市場開拓協議会	製材

九州・沖縄ブロック(30産地)

65	福岡県	九州農産物通商株式会社	うんしゅうみかん
66		島原雲仙農業協同組合	いちご
67	長崎県	対馬水産株式会社	甘鯛
68		株式会社福岡ソノリク	甘藷
69	熊本県	有限会社コーシン	豚肉・豚肉加工品
70		株式会社ローソンファーム熊本	みかん
71		大分県農業協同組合	ぶどう
72		大分県漁業協同組合	養殖ブリ
73	大分県	日田木材協同組合	製材
74		大分県農業協同組合	柑橘類
75		株式会社マルハニチロAQUAアクア事業所	養殖ブリ
76		南九州輸出茶コンソーシアム	茶
77		株式会社ネイバーフッド	柑橘
78	宮崎県	株式会社MOMIKI	ソース調味料
79		株式会社杉本商店	乾しいたけ
80		株式会社大森淡水	うなぎ
81		有限会社竹炭の里	竹炭
82		有限会社大崎農園	だいこん
83		有限会社かごしま有機生産組合	かんしょ・かんしょ加工品
84		株式会社指宿やさいの王国	かんしょ・キャベツ・レタス
85		株式会社大古農園	キャベツ・カボチャ
86		有限会社南橋商事	かんしょ・かんしょ加工品
87	鹿児島県	Japan potato有限会社	かんしょ
88		鹿児島県経済農業協同組合連合会	大将軍(だいまさき)(柑橘)
89		東町漁業協同組合	ぶり
90		鹿児島県漁業協同組合連合会	養殖ぶり類
91		枕崎水産加工業協同組合	かつお類
92		大宜味村シークワサー産地振興協議会	シークワサー
93	沖縄県	まるっと沖縄輸出推進協議会	パインアップル
94		株式会社八重山食肉センター	牛肉



北陸ブロック(14産地)

28		にいがた有機農業輸出促進協議会	コメ
29		新・新潟米ネットワーク合同会社	コメ
30		新潟県酒造組合	日本酒
31	新潟県	株式会社想樹	梨
32		株式会社くにみ農産	米、柿、柿・そら豆加工品
33		株式会社新潟小規模蒸溜所	ウイスキー
34		有限会社エコ・ライス新潟	コメ
35		越後製菓株式会社	米加工品・パックご飯
36	富山県	富山干柿出荷組合連合会	干柿
37		伏木富山港冷凍水産加工品輸出拡大コンソーシアム	水産品
38	石川県	有限会社わくわく手づくりファーム川北	クラフトビール
39		福井県農業協同組合	コメ
40	福井県	株式会社マイセンファインフード	大豆加工品
41		シンフォニー吉田酒造株式会社	日本酒



北海道ブロック(8産地)

1		新篠津村農業協同組合	コメ
2		新篠津村農業協同組合	たまねぎ
3		株式会社HEファーム	かぼちゃ
4	北海道	ようてい農業協同組合	ゆり根
5		枝幸水産物輸出促進協議会	ホタテ貝、サケ
6		十勝清水町農業協同組合	大豆・小豆及びその加工品
7		中札内村農業協同組合	枝豆・小豆加工品
8		北海道産畜肉輸出産地形成コンソーシアム	牛肉、豚肉及びその加工品

東北ブロック(6産地)

9		いわて農林水産物国際流通促進協議会	コメ
10	岩手県	株式会社八木澤商店	醤油・味噌・調味料
11		有限会社三陸とれたて市場	ホタテ貝、タイ等
12	宮城県	石巻食品輸出振興協議会	水産加工品・鮮魚
13		株式会社マンカウィル東北	りんご、もも
14	山形県	ジェイエイトんどう輸出推進協議会	メロン、桃、柿、西洋梨

関東ブロック(13産地)

15	埼玉県	狭山茶輸出促進協議会	茶
16	千葉県	JAL Agriport株式会社	いちご
17	山梨県	アグベル株式会社	ぶどう
18		株式会社フルプロ	りんご
19	長野県	株式会社秀果園	ぶどう・りんご・ぶどう加工品
20		有限会社小柳農園	コメ・コメ加工品
21		静岡市茶業振興協議会	茶
22		株式会社世界市場	みかん
23		株式会社鈴生	レタス・ブロッコリー
24	静岡県	株式会社かけがわ有機の郷	茶
25		株式会社流通サービス	茶
26		株式会社MARUMAGO	茶
27		MATCHA KAORI JAPAN株式会社	茶

輸出事業計画

輸出事業計画とは

- 農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律（令和元年法律第57号）
（輸出事業計画の認定）

第37条

我が国で生産された農林水産物又は食品の輸出のための取組を行う者は、単独で又は共同して、**農林水産物又は食品の輸出の拡大を図るためこれらの生産、製造、加工又は流通の合理化、高度化その他の改善を図る事業に関する計画を作成し、農林水産省令で定めるところにより、これを農林水産大臣に提出して、その認定を受けることができる。**

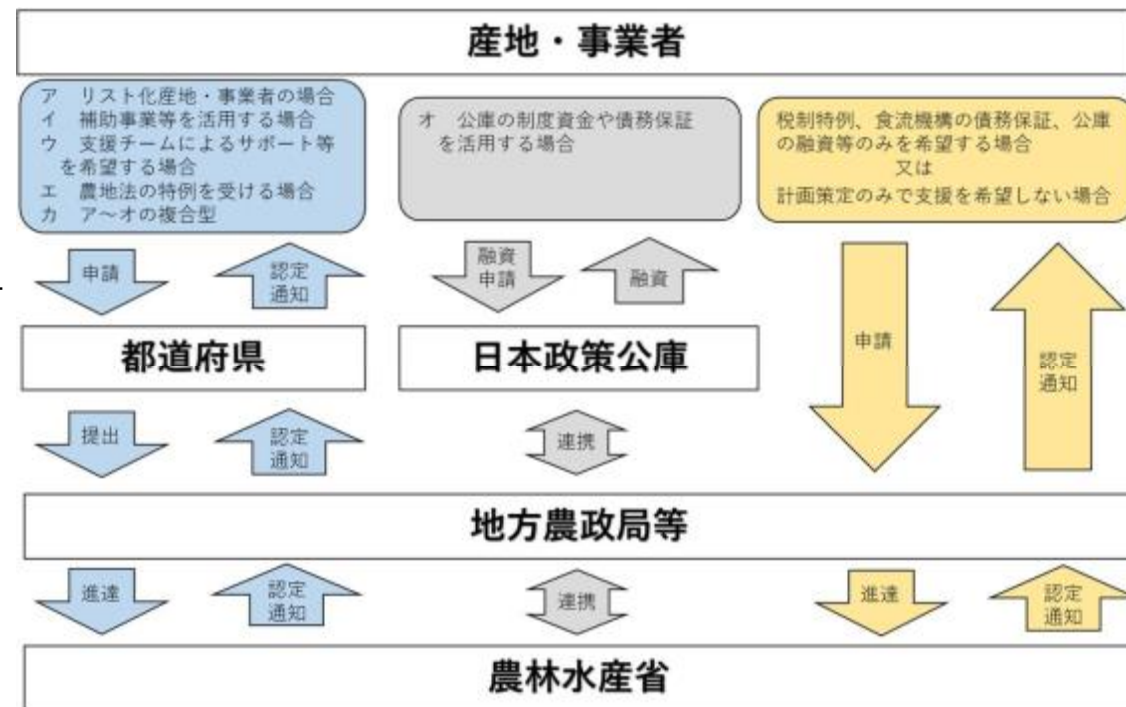
申請者の要件

- 輸出事業計画に基づく事業を的確に実施できる能力を有する個人、団体（輸出に取り組む意欲のある者であれば申請可能）
- GFP登録者であること

計画策定のポイント

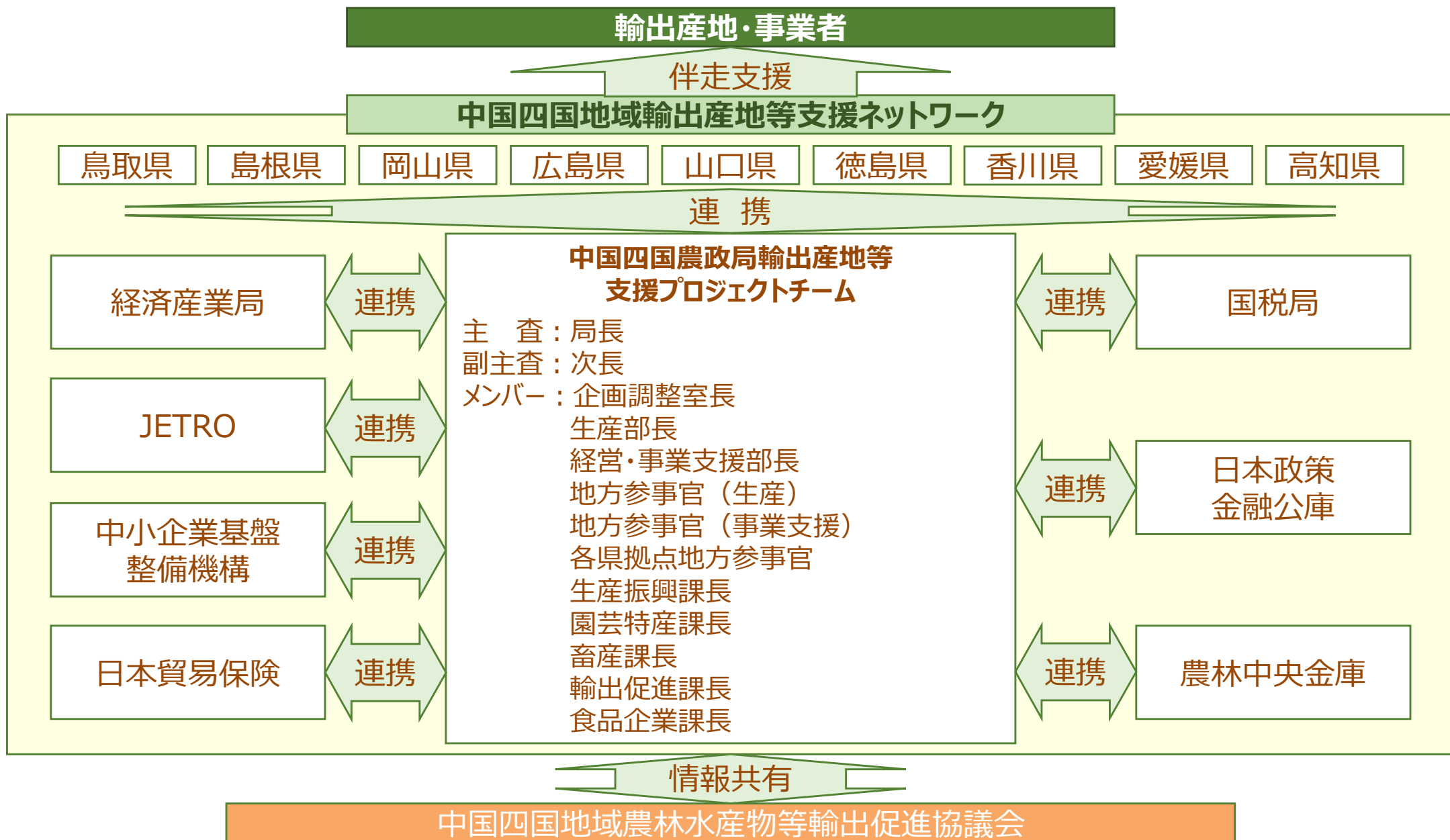
- **ターゲットとする輸出先国のニーズ**を具体的に把握すること
- **輸出に対応するための課題と取組**が明確な内容となっていること
- **目標年における輸出額の設定**が現在の商流と新たな商流の関係から適切な設定となっていること
- 輸出事業計画の策定、計画策定後の実証や策定した計画の見直しを行うため、輸出事業に関する知見を有する者と連携して、**P D C A サイクルを回せる体制**が整備されていること

申請手順



事業者の支援体制

- 輸出处・事業者が輸出事業計画を策定・実行するにあたり、産地等に関係機関と連携した伴走型の支援を行うため、令和4年2月10日に中国四国地域輸出处等支援ネットワークを設立。令和5年3月1日に体制を強化。



輸出事業計画の策定状況

令和6年1月末時点

中国地方

山口県（3事業者）

事業者名	品目	輸出先国
株式会社シマヤ	だしの素・粉末うどんスープ	アジア等
やまぐちの農林水産物需要拡大協議会	日本酒	中国・香港
株式会社カン喜	冷凍かき・かきフライ・殻付かきグラタン等	台湾・香港・タイ・EU等

鳥取県（1事業者）

事業者名	品目	輸出先国
丸京製菓株式会社	菓子	北米・中国・韓国・EU・東南アジア等

広島県（6事業者）

事業者名	品目	輸出先国
広島県果実農業協同組合連合会	かんきつ・ぶどう	台湾・香港・マレーシア
株式会社マルサン	鶏卵・液卵	香港
オーシャンポイント株式会社	冷凍かき・かきフライ	香港・台湾・タイ
株式会社サクラオブルフリーアンドディスティラリー	酒類	米国・カナダ・EU・中国等
株式会社ますやみそ	味噌・調味食品	台湾・タイ
オタフクソース株式会社	ソース類他	米国・イギリス・イタリア・オーストラリア・台湾

岡山県（4事業者）

事業者名	品目	輸出先国
全国農業協同組合連合会 岡山県本部 岡山市農業協同組合 晴れの国岡山農業協同組合	桃・ぶどう	台湾・香港・シンガポール等
宮下酒造株式会社	酒類	アジア・中国・フランス等
室町酒造株式会社	酒類	米国・中国・香港・EU・シンガポール
江与味製材株式会社	製材	中国・韓国・台湾・ベトナム

愛媛県（13事業者）

事業者名	品目	輸出先国
えひめ愛フード推進機構	かんきつ	アジア・カナダ・EU等
愛媛県	媛スマ	シンガポール・タイ・米国等
	水産物（ブリ・マダイ等）	アジア・米国等
辻水産株式会社	水産物（ブリ・マダイ等）	アジア・米国等
秀長水産株式会社		北米・アジア・EU等
株式会社南予ビージョイ 森松水産冷凍株式会社		北米・アジア・EU・中東・中南米

香川県（8事業者）

事業者名	品目	輸出先国
木桶仕込み醤油輸出促進コンソーシアム	醤油	米国・EU等
ヤマロク醤油株式会社	醤油	米国・EU等
大平やさい株式会社	レタス類	シンガポール・台湾
香川県漁業協同組合連合会	ぶり	米国・タイ・韓国・シンガポール等
株式会社木村海産	釜揚げしらす等	台湾・韓国・シンガポール等
鎌田醤油株式会社	醤油	米国・中国・韓国・台湾・フランス等
香川県	RTE冷凍麺	アメリカ・カナダ・香港・台湾・シンガポール
石丸製麺株式会社	麺類（麦加工品）	台湾・中国・韓国・香港等

徳島県（2事業者）

事業者名	品目	輸出先国
仲野産業株式会社	レンコン等加工食品	米国・台湾・香港・シンガポール・豪州等
株式会社農家ソムリエーズ	かんしょ	台湾・香港・欧州・カナダ等

高知県（3事業者）

事業者名	品目	輸出先国
高知県農業協同組合中村支所おおきみ部会	いちご	香港・マレーシア・タイ・シンガポール等
高知米国市場開拓協議会	製材	米国
サンライズファーム株式会社	ブリ・クロマグロ	台湾・香港・中国・米国等

（続き）

イヨスイ株式会社	水産物（ブリ・マダイ等）	北米・中国・韓国
株式会社ヨンキュウ		米国・韓国等
株式会社ダイニチ		米国・香港・タイ等
株式会社宇和島プロジェクト		米国・アジア
朝日共販株式会社	しらす製品	タイ・台湾・米国・香港
愛媛県漁業協同組合	ブリ・タイ	米国・カナダ
森文醸造株式会社	醤油・たれ・つゆ・酢卵等	米国・ドイツ・フランス・スイス・中国等
愛媛県海外販路開拓企業連携体	菓子・農産加工品・水産加工品・調味料等	米国

輸出重点品目

これまで日本から輸出してきた品目は多岐にわたっていましたが、それぞれの品目の輸出額は小さく、「日本ならではの」強みを持つ製品のシェアが小さい状況でした。

そこで海外で評価される「日本ならではの」強みをもつ29品目を「輸出重点品目」として設定しました。

29品目それぞれにターゲットとする国や地域、具体的な輸出目標やそれに向けた課題を明確にし、その実現に向けたさまざまな取り組みを行っています。

コメ・パックご飯・
米粉など



冷めても美味しい等の日本産米は寿司やおにぎり等に向き、日本食の普及とともに拡大が可能。

牛肉



和牛として世界中で認められ、人気が高く、引き続き輸出の伸びに期待。

豚肉、鶏肉



とんかつ、焼き鳥など日本の食文化とあわせて海外の日本ファンにアピールすることで、今後の輸出の伸びに期待。

製材



スギやヒノキは、日本式木造建築だけでなく香りの癒しの効果も人気で、今後の輸出の伸びに期待。

果樹(りんご、ぶどう、もも、かんきつ、かき・かき加工品)、野菜(いちご)



甘くて美味しく、見た目も良い日本の果実は海外でも人気。

鶏卵



半熟たまごが浸透し、生食できる卵としての品質が評価され、更なる輸出の伸びに期待。

合板



合板の加工・利用技術は、日本の得意分野。日本式木造建築とともに、今後の輸出の伸びに期待。

牛乳・乳製品



香港や台湾で品質が高評価。アジアを中心に輸出の可能性。

野菜(かんしょ等)



焼き芋がアジアで大人気。輸出が急増。

切り花



外国にはない品種に強み。輸出の伸び率が高い。

菓子



日本独自の発展を遂げ、他国にはない独創性。バラエティ豊かな商品とコンテンツの普及とともに海外で人気。

ぶり



脂がのっている日本独自の魚種。近年、米国等への輸出額が増加。

たい



縁起のよい赤色は中華圏でも好まれる。活魚輸出の増加に期待。

ホタテ貝



高品質な日本産ホタテ貝は世界で高く評価。水産物では輸出額ナンバーワン。

真珠



真珠養殖は日本発祥。日本の生産・加工技術が国際的に高評価。

清涼飲料水



緑茶飲料など日本の味が人気となり、伸び率が高い。

茶



健康志向の高まりと日本文化の浸透とともに欧米を中心にせん茶、抹茶が普及。

ソース混合調味料



カレールウなど日本食の普及とともに日本を代表する味に成長。

味噌・醤油



日本が誇る発酵食品。和食文化の浸透とともに欧米・アジア地域で人気も上昇。

清酒(日本酒)



「SAKE」は日本食のみならず各国の料理に合う食中酒等として世界中で認知が拡大中。

ウイスキー



日本産品の品質が世界中でブランドとして定着。

本格焼酎・泡盛



原料の特徴を残すユニークな蒸留酒としての評価があり、今後の輸出拡大に期待。

錦鯉



日本文化の象徴としてアジア、欧州を中心に海外で人気。

